

[受賞歴 2000～2011] 増澤徹

平成 23 年(2011) 平成 23 年度日本 AEM 学会 技術賞 (11 月 15 日)

「治療用人工心臓のためのアキシヤル型磁気浮上モータの開発」, 日本 AEM 学会誌 Vol.19, No.2, 2011

平成 23 年(2011) 平成 23 年度茨城大学学長学術表彰 優秀賞 (10 月 26 日)

平成 22 年(2010) 平成 22 年度日本人工臓器学会 論文賞 (11 月 19 日)

Masuzawa T, Ohta A, Tanaka N, Qian Y, Tsukiya T, “Estimation of changes in dynamic hydraulic force in a magnetically suspended centrifugal blood pump with transient computational fluid dynamics analysis”, J. Artificial Organs, 12, 150-159, 2009

平成 21 年(2009) 日本 AEM 学会 功労賞

平成 21 年(2009) 日本人工臓器学会 SAITO AWARD 受賞

Masuzawa T, Ohta A, Tanaka N, Qian Y, Tsukiya T, “ Estimation of changes in dynamic hydraulic force in a magnetically suspended Centrifugal blood pump with transient computational fluid dynamics analysis”, J. Artificial Organs, 12, 150-159, 査読有り, 2009

平成 20 年(2008) International Society for Rotary Blood Pumps (ISRBP) Poster Award 受賞

Masuzawa T, Ohta A, Tanaka N, Qian Y, Tsukiya T, “TRANSIENT CFD ANALYSIS FOR A MAGNETICALLY LEVITATED CENTRIFUGAL BLOOD PUMP”

平成 19 年(2007) ライフサポート学会 論文賞

Saito T, Masuzawa T, Nakayama N, “Development of a novel hybrid type magnetic bearing and application to small impeller centrifugal pump for artificial hearts”, ライフサポート, 18(4), 148-153, 2006

平成 18 年(2006) 日本人工臓器学会 論文賞

丸山 修、沼田雄亮、西田正浩、山根隆志、大島郁也、足立吉数、増澤 徹、
“Hemolysis caused by surface roughness under shear flow”, Journal of Artificial Organs, 8(4), 228-236, 2005

平成 14 年(2002) ライフサポート学会 論文賞

丸山 修、山根隆志、西田正浩、増澤 徹、「マイクロカプセル模擬血液の剪断応力による破壊特性」ライフサポート, 14(4), 129-136, 2002

平成 13 年(2001) 日本人工臓器学会 論文賞

柴 建次、周 英明、越路耕二、土本勝也、塚原金二、増澤 徹、角田幸秀、巽英介、妙中義之、高野久輝、
「人工心臓用経皮エネルギー伝送システムーエネルギーバックアップシステムの設計・試作と In Vivo 評価ー」人工臓, 29(1), 24-30, 2000

平成 12 年(2000) 東京電機大学 ME 会 第 13 回高橋賞

[受賞歴 1985～1996] 増澤徹

- 平成 8年(1996) 日本機械学会 設計工学・システム部門 ラピッドプロトタイピングコンテストアイデア賞
増澤徹, 西尾隆司, 土本勝也, 塚原金二, 妙中義之, 巽英介, 宇山親雄, 「人工心臓開発におけるラピッドプロトタイピングの活用」
- 平成 5年(1993) 第21回人工心臓と補助循環懇話会 若手研究者最優秀賞
- 平成 4年(1992) 第20回人工心臓と補助循環懇話会 若手研究者最優秀賞
- 平成 3年(1991) 日本エム・イー学会 論文賞
福井康裕, 増澤徹, 「ファジィ血圧制御システムの開発」, 医用電子と生体工学, 27(2), 79-85, 1989
- 平成 元年(1988) 財団法人 健康科学振興財団 平成元年度フェローシップ取得
- 昭和 60年(1985) 丹羽記念会 海外研修生資格取得